



## アジア原子力人材育成会議を開催しました

令和 2 年 2 月 5 日から 7 日までの 3 日間にわたり、国際原子力機関（IAEA）の協賛を得て、平成 22 年から 10 回目となる「アジア原子力人材育成会議」をエネ研で開催しました。

本会議は、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき国際的な原子力人材の育成を充実させるため、アジアをはじめ世界各国の原子力発電所の導入の動きや人材育成の課題等について情報を共有し、協議することを目的として実施してきました。

最後となる今回は、「原子力安全のための能力強化」をテーマに、IAEA の専門家 1 名と 7 か国（オーストラリア、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）から 8 名の政府機関等の高官を招聘し、国内からは、国や大学、日本原子力研究開発機構、電力事業者等の原子力人材育成関係者 36 名が参加しました。

櫻本宏副知事の挨拶に引き続き、IAEA 原子力安全・セキュリティ局のグレッグ・ジェントコフスキ原子力施設安全部長によるビデオ講演のほか、内閣府、経済産業省、原子力規制庁、福井県、エネ研による基調講演が行われ、原子力安全に関する日本を含む世界の状況、日本の原子力政策、福井県の人材育成の取組みなどが紹介されました。

次に、各国から現状や課題に関する報告があり、その後討論が行われました。討論では、原子力分野から人材が流出しないよう、若い世代に対してキャリアパスを示すとともに、AI や気候変動など原子力以外の切り口で原子力発電の方向性が示される必要があることなどが議論されました。

エネ研は、今後も世界における原子力人材育成に貢献するため、引き続き事業を行ってまいります。



櫻本副知事の挨拶



ビデオ講演の様子



会議の様子



会議参加者

## スマデコ設備を利用し、水中レーザー切断試験を実施

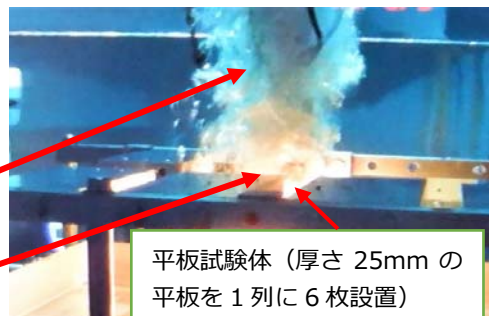
エネ研では、水中でのレーザー切断時に発生する粉じんの挙動調査について国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげんから委託を受け、「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点※」(通称:スマデコ)を試験場所を選択し、そこに設置されている直径4m、水深10mの大型水槽を使った水中切断試験を昨年11月7日から今年の2月4日まで実施しました。

試験では、ふげんの原子炉構造材を想定し、平板(厚さ:25mm)、2重管(内側:圧力管(外径:約126mm)、外側:カランドリア管(外径:約160mm))を対象に、切断位置の水深や切断速度を変えて、レーザーで水中切断し、切断で発生した粉じんの気中への移行量等の計測を行いました。

ふげんでは、レーザー切断技術によるデータ整理や実証を経て、商業炉の廃止措置工事にも貢献できるよう、必要とされる技術開発を目指しており、エネ研は今後もこれに協力していきます。

レーザーヘッド:レーザーの光路確保等のため先端からエアを噴出

レーザー切断による発光



平板試験体(厚さ25mmの平板を1列に6枚設置)

水中レーザー切断状況(平板)

※「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点」:デコミッションングは、原子力施設を解体・撤去する廃止措置の意味。日本原子力研究開発機構が平成30年6月から運用を開始した施設で、原子力発電所の廃止措置に関する技術について地元企業の成長を支援し、産学官が一つ屋根の下で地域経済の発展と廃止措置の課題解決に貢献するための拠点。

## 原子力災害時の情報発信に関する研修を開催

令和2年2月17日から21日にかけて、国際原子力機関(IAEA)およびエネ研の共催で、「原子力・放射線緊急時におけるコミュニケーションに関する研修」を開催しました。

研修には、原子力災害時の広報を含むコミュニケーション政策を学ぶため、アジア8か国( Bangladesh、インドネシア、カザフスタン、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)から、政府機関の広報担当者等17名が参加しました。

講師としてIAEAの専門家、我が国の原子力規制庁および福井県危機対策・防災課の職員をお招きし、参加者は講義や演習、グループワークを通して、過去の原子力災害の教訓や、住民の不安に応えるための情報発信の在り方等について学びました。また、美浜原子力防災センターや関西電力大飯発電所の見学を通して、原発立地地域の緊急時対応や発電所の安全対策について学びました。



グループワーク



オフサイトセンター見学



記念撮影

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。

郵便:〒914-0192 福井県敦賀市長谷64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail: kikakushien@werc.or.jp TEL: 0770-24-7270 FAX: 0770-24-7275

